

緩和ケアセンター（緩和ケア科）（担当部門：選択科目）

診療科 HP：香川大学医学部附属病院 緩和ケア科

研修目標（1ヶ月の研修）

- がん緩和ケアの基本となるがん性疼痛の評価と薬物療法（オピオイド等）を実践できるようになる。
- がん患者・非がん患者の共同意思決定（Shared decision making）に自ら関わり、関係する診療科医師・他職種スタッフと情報共有できる。

研修内容、経験できる症例や手技

- 緩和ケアに関する問診技術および一般身体診察の習得
 - がん性疼痛への薬物的・非薬物的介入の検討
 - 外来およびベッドサイドでのトリガーポイント注射
- ※看取り研修など全領域の応用可能な緩和ケア教育も行います。

診療科の紹介

当科は外来から入院まで、シームレスな専門的緩和ケアの提供を行っています。患者さんの苦痛への対応はもちろんのこと、地域も含めた医療者間のコミュニケーションも大事にしています。将来どの診療科に進んでも必要になる知識や技術を身に付けることができますので、少しでも緩和ケアに興味のある方はぜひ研修にいらして下さい。

研修時のスケジュール

- 院内緩和ケアチーム介入患者回診と緩和ケア外来での研修を中心とします。

曜日	午 前	午 後
月	消化器腫瘍合同カンファレンス 回診 緩和ケア外来	病診連携ウェブカンファレンス 緩和ケア外来 回診・診療支援業務
火	回診	抄読会・勉強会の準備
水	抄読会 回診 緩和ケア外来	緩和ケアチームカンファレンス&回診
木	回診	回診・診療支援業務 緩和ケア勉強会
金	がんサージカルボード 回診 緩和ケア外来	回診・診療支援業務 学生実習見学・補助業務

※一時期にローテートする研修医は1名が基本です。

他診療科を研修中でも、水曜日午後の緩和ケアチームカンファレンス&回診は参加です。

※同時研修人数・研修期間・内容に関して特別な要望のある方は、個別にご相談ください。

推奨図書:①日本緩和医療学会編集. 専門家をめざす人のための緩和医療学 改定第2版(南江堂)、
②武田文和監修. トワイクロス先生の緩和ケア: QOL を高める症状マネジメントとエンドオブライフ・ケア、③日本緩和医療学会および日本サイコオンコロジー学会発刊の各種ガイドライン